

## 女子ラグビー第1戦V

## 「勝てて自信に」

## 横浜TKM 地元で報告

国内各地で4戦して総合優勝を争う女子7人制ラグビーの「太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ」第1戦(23、24日・

熊谷)を制した横浜TKMのメンバーが27日、地元の横浜市戸塚区役所を訪れ、国本直哉区長に初優勝を報告した。

区役所を訪れたのは長谷部直子監督、主将の松永美穂、第1戦MVPのククタイ。

2011年の創立以



国本戸塚区長(中央左)にサインボールを手渡す松永主将(同右)。右端は長谷部監督、左端はMVPのククタイ＝戸塚区役所

来、初めての優勝に、松永は「まだ実感が湧かないが、勝てて自信になった」と喜びを語った。6試合で7トライを挙げたニュージールランド出身のククタイは4日に合流したばかり。「チームにすぐになじんで力を出せた」と笑顔を見せた。

昨年の総合8位から大きく躍進し、「今度は総合優勝の報告で訪れた」と長谷部監督。4月に着任した国本区長は「早速、優勝報告を受けられてうれしい」と地元チームの朗報を喜んでいた。